

令和4年度 第2回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月8日（金） 14時30分～16時10分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 パソコン室
- 3 出席委員 伊藤 雅文 佐々木 美香、見野 佐枝子、伊藤 文雄、笠原 剛
藤原 四郎（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 藤島 治 清水 淳子
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男、神田 佳彦（北部協働センター）
- 6 学 校 柳瀬 美穂（校長）、鈴木 彰一（教頭）、中西 伸（CS担当教職員）
飯田 千鶴（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
（1）議長の選出について
（2）タブレットを使用した授業について
（3）人との関わりによる豊かな体験づくりについて
- 10 会議録作成者 CSディレクター 飯田 千鶴

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち6人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

その後、委員は、6年生がタブレット学習に取り組んでいる様子を参観した。

（1）議長の選出について

教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、伊藤会長より藤原委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）タブレットを活用した授業について

議長の指示により、CS担当教職員から資料に基づき、タブレット端末を活用した学習に関して、学校の活用方針について説明があった。委員からは参観した感想を含め、以下の発言があった。

- ◆児童たちは、必要な情報を瞬時に得ることを既に体感していた。今後は、タブレット学習を通して得た情報を、どのように活用するかが重要である。また、全児童が等しくタブレットで学習できることは良いことである。（伊藤会長）
- ◆児童たちは、画面上ではいろいろなことが想像できている。（伊藤文雄委員）
- ◆自分で調べる力、自分で考える力を向上させていく必要がある。（笠原委員）
- ◆自宅で活用する場合、家族との会話等を考えると使い方にモラル（約束やルール）が

大切になる。(見野委員)

- ◆かつてのような受け身の授業ではなく、児童たちが自ら積極的に学習に取り組んでいたことに驚いた。と同時に、タブレット学習と実体験を伴った学習とのバランスが大切である。また、こうしたツールの活用方法を学校で身に付けていくことは、将来、子供たちが仕事をする上で必要なことである。(佐々木副会長)

協議の結果、全員異議なく本校のタブレット活用に関し支援していくことを承認した。

(3) 人との関わりによる豊かな体験づくりについて

議長の指示により、CS ディレクターより別紙資料に基づき、本校のボランティア活動について説明があった。併せて校長より、みずほ花の会のボランティアが不足している旨、説明があった。その上で、この活動を保護者だけではなく地域の方たちにも広げ、子供たちの豊かな体験を支援していただきたい旨、説明があった。委員からは、以下のような発言等があった。

- ◆花の会の活動を地域に広げ、よりよいコミュニティ・スクールづくりに繋げていきたい。その方法をともに考えていきたい。(藤原議長)
- ◆お便り等を通じ、地域の方たちにボランティアの募集を呼びかけることは可能である。まずは、地域の高齢者サロン等でボランティアの説明会等を実施し、花の会の活動に興味を持った方たちに参加していただけるよう、自治会に依頼するのはどうか。
(伊藤会長)
- ◆保護者や地域の方たちだけではなく、児童たちとも一緒に活動できる日程があるといいのではないかと。(佐々木副会長)
- ◆一度学校のイベントとして参加を呼びかけ参加していただき、そこから広げていく方法が良いのではないかと。高齢者の方たちは、子供たちとの触れ合いを楽しみにしている。(伊藤文雄委員)
- ◆高齢者が学校に来るきっかけづくりができるといい。(見野委員)

協議の結果、全員異議なく、みずほ花の会の支援についてボランティア募集を広げていくことを承認した。

その他報告事項等

司会の教頭より、次回の協議会は10月7日(金) 14:30からパソコン室で開催する旨、説明があった。また、次回の議長について、引き続き藤原委員を推挙したい旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

最後に校長より、次回の協議会において、11月の花の会イベント企画とボランティア募集に関するちらしを提案する旨、説明があった。

以上